

## 令和元年度 横浜市外国人意識調査 結果

～今の自分の暮らしに満足と回答した人が6割以上、  
地域活動への参加意向を有する人が7割以上など～

横浜市内の外国人人口が、平成31年4月末に10万人を超え、更なる増加が見込まれる中、市内在住外国人の生活意識やニーズを把握し、市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、「横浜市外国人意識調査」を実施しました。

調査は、郵送によるアンケート方式で、住民基本台帳から無作為抽出した満20歳以上の市内在住外国人5,000人を対象に実施し、1,764件（回収率35.3%）の回答が得られました。

調査結果では、**今の自分の暮らしに満足と回答した人が6割以上、地域活動への参加意向を有する人が7割以上**となり、一方、**日本語の不自由さを困りごととして回答した人は3割で、そのうち日本語の学習意欲を有する人は9割に上りました。**

今後、多言語での情報提供・相談対応の充実に加え、外国人の地域での活躍に向けた後押しや日本語習得支援に重点的に取り組み、外国人材の受入・共生を一層推進していきます。

### 調査の概要

調査対象数：5,000人（満20歳以上の市内在住外国人を住民基本台帳から無作為抽出）  
回収数：1,764件  
回収率：35.3%  
調査方法：郵送によるアンケート方式  
※調査票は6言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）  
調査期間：令和元年11月～12月

### 結果のポイント

- ① 暮らしの満足度  
今の自分の暮らしに満足（満足している+やや満足している）している人は64.1%
- ② 地域活動への参加意向  
「やってみたい地域活動は何ですか」という問いに対し、何らかの地域活動への参加意向を示した人は74.1%。
- ③ 生活で困っていることや心配なこと  
日本語の不自由さと答えた人は最も多く29.8%。そのうち、日本語の学習意欲を有する人（積極的に学びたい+機会があれば学びたい+無料なら学びたい）は91.1%。

報告書は下記ホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/kokusai/kyosei/fr-chosa01.html>

お問合せ先

国際局政策総務課担当課長 関谷 聡 Tel 045-671-4700

裏面あり

## 令和2年度の主な取組

- ・ 外国人への総合的な情報提供・相談対応を行う多文化共生総合相談センターの運営（継続）
  - ・ 外国人の集住が進む3区（鶴見区、中区、南区）の国際交流ラウンジにおいて、地域コミュニティの課題解決に向けたコーディネーターの配置（新規）
  - ・ 外国人増加率が高い緑区に国際交流ラウンジを新たに開設（新規）
  - ・ 外国人住民の日本語習得支援のための拠点を横浜市国際交流協会（YOKE）に設置（新規）
- 

## 前回調査の概要 (平成25年度)

調査対象数：5,000人（満20歳以上の市内在住外国人を住民基本台帳から無作為抽出）

回収数：1,505件

回収率：30.1%

調査方法：郵送によるアンケート方式

※調査票は6言語（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）

調査期間：平成25年7月

報告書：<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/kokusai/kyosei/fr-chosa01.html>

# 調査結果のポイント

## 回答者の属性

### 【性別】

- 女性 56.1%、男性 41.9%

### 【年齢】

- 若年層（39歳以下）51.6%、中年層（40～59歳）34.2%、高年層（60歳以上）13.0%

### 【居住区】

- 「中区」（12.6%）、「神奈川区」（12.3%）、「鶴見区」（11.1%）、「南区」（9.0%）、「港北区」（7.9%）の5区で全体の52.8%

### 【国籍・地域】

- 「中国」（40.9%）、「韓国」（13.5%）、「フィリピン」（8.4%）で全体の62.9%

### 【在留資格】

- 「永住者」（40.2%）、「技術・人文知識・国際業務」（13.5%）、「日本人の配偶者等」（7.4%）、「留学」（7.4%）、「家族滞在」（7.1%）で全体の75.7%

### 【家族構成】

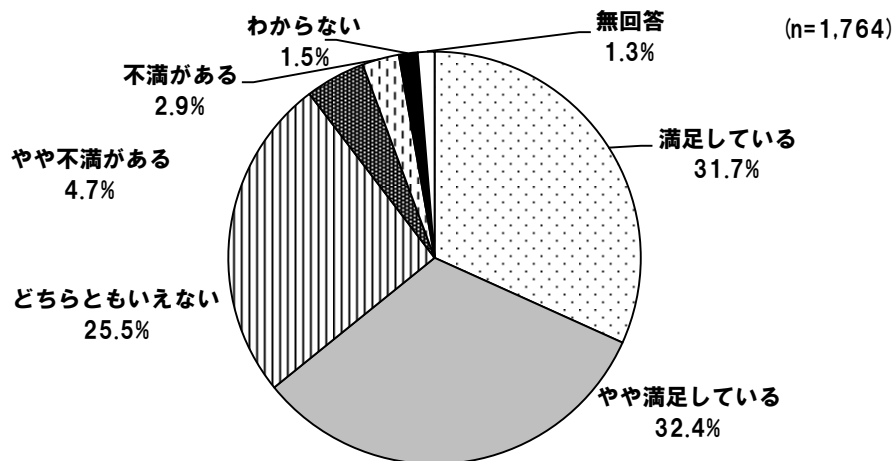
- 「父母と子[二世帯]」（34.5%）、「夫婦だけ」（22.4%）、「ひとり暮らし」（21.2%）

### 【職業】

- 「主婦・主夫」（20.1%）、「現業職」（14.2%）、「事務職」（13.9%）、「専門技術職」（12.8%）、「学生」（7.9%）

## ポイント ① 暮らしの満足度 満足度が6割を超える

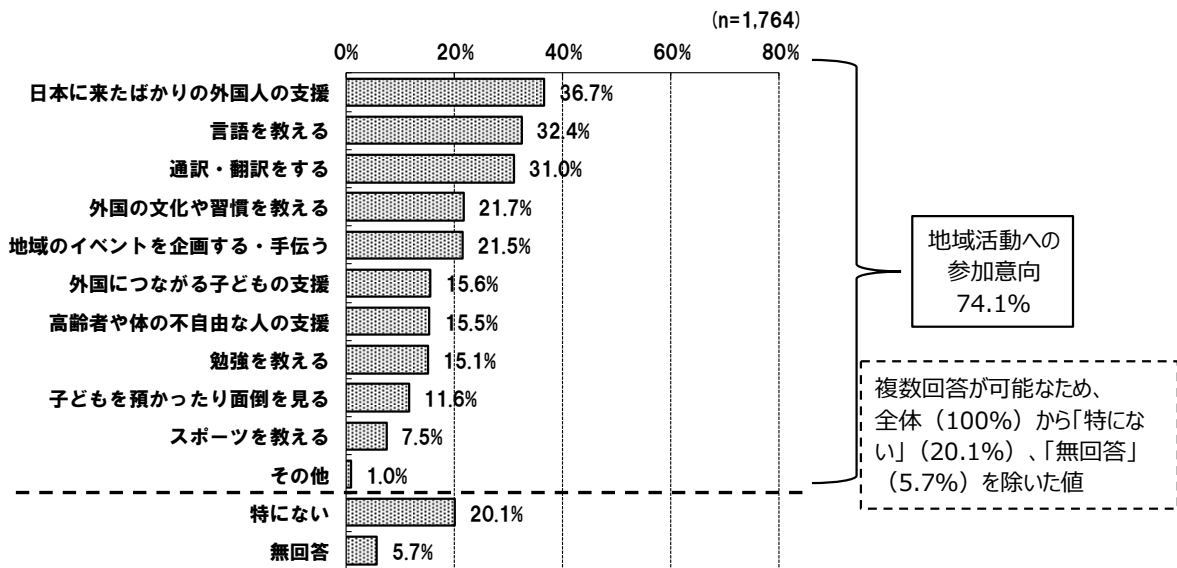
現在の生活に満足（満足している+やや満足している）と回答した人は64.1%でした。



## ポイント ② 地域活動

## 7割以上に参加意向あり

「やってみたい地域活動は何ですか」という問いに対し、何らかの地域活動への参加意向を示した人は74.1%でした。



## ポイント ③ 困りごと

## 「日本語の不自由さ」が第一位

「困っていることや心配なこと（複数回答可）」に関して、日本語の不自由さと答えた人は最も多く29.8%でした。そのうち、日本語の学習意欲を有する人（積極的に学びたい+機会があれば学びたい+無料なら学びたい）は91.1%でした。

順位	項目	割合
1	日本語の不自由さ	29.8%
2	病気になった時の対応・病院で外国語が通じない	19.3%
3	自分または家族の健康	14.7%
4	災害時・緊急時の対応	14.6%
5	子どもの教育	14.5%

<「日本語の不自由さに困っている人」の日本語の学習意欲>

